

永吉秀司 日本画展 一人ノ心ヲ伝フコト

永吉秀司（ながよし ひでし）先生は、1972年生まれで、1997年東京藝術大学大学院絵画研究科日本画専攻を修了後、院展を中心に活動され、2021年には第76回春の院展において最高賞である春季展賞と、足立美術館賞をダブル受賞するなど、日本画家としての実績を積みまれています。また、「源氏物語絵巻現状模写」制作、関川村弘長寺極楽浄土再現壁画制作・監修など、幅広く活躍され、現在、日本美術院特待、新潟大学教育学部准教授を務めておられます。

今回の企画展では、院展入選作品から現在に至る人物画表現について紹介されます。また、各作品ごとに先生の散文詩が展示され、制作への思いや背景を知ることができます。



《散るから》

先生は大学で日本画を教えていることもあり、一般の方々へ日本画の素晴らしさを理解してもらう活動に力を入れています。

今回の企画展では、制作に使用する「岩絵具」「胡粉」「膠」「筆」などの実物を展示するほか、これらを用て日本画が描かれるまでを解説したパネルも展示されます。

また、親子で楽しむ「日本画ワークショップ」や、大人のためのワークショップ「画家の秘密」など、楽しく日本画に親しめる催しも行われます。



《雪の寓話》

会期は4月27日（土）から6月2日（日）までの間です。新緑の鮮やかな木々に囲まれた「弥彦の丘美術館」で、心に残る日本画と出会ってください。